

令和7年度多摩市気候市民会議
実施報告書

令和8年3月

多摩市

－ 目 次 －

I 令和7年度多摩市気候市民会議の概要.....	1
1 背景・経過	1
2 令和7年度の目的	1
3 実施体制	2
4 実施状況	2
5 参加者の選定方法	3
II 令和7年度多摩市気候市民会議の実施結果.....	6
1 事前アンケート	6
2 第1回会議	10
3 第2回会議	25
4 取組の実行	32
5 第3回会議	34
6 終了後アンケート	42

I 令和7年度多摩市気候市民会議の概要

I 背景・経過

近年、人類の活動に伴って排出される二酸化炭素などの影響で地球温暖化が加速しています。私たちが暮らす日本でも、猛暑や集中豪雨が頻発するなど、その影響を感じるが増えてきました。

本市では、はじめての気候市民会議をまだ先駆けの時期である令和5年度に開催し、脱炭素社会への転換に向けた気候変動対策の取組み 145 件の提案を受けました。そのうち 77 件については令和6年3月に策定した第3次多摩すみどりと環境基本計画（計画期間：令和6年度～令和15年度）に反映しました。

令和6年度は令和5年度の気候市民会議の提案から、市民や事業者に対して脱炭素社会への転換に向けた行動変容を呼びかけるポスターを作成しました。令和7年度以降は、気候市民会議を引き続き開催し、市民提案を反映した第3次多摩すみどりと環境基本計画の中から市民自ら取り組めるものを参加者主体で選び出して実行することを毎年度実施していきます。

【気候市民会議とは】

気候市民会議とは、無作為に選ばれた市民が会議に参加し、専門家から情報提供を受けながら、市民同士で熟議を重ね、気候変動への対応策について提言をとりまとめる手法です。特に令和元年前後から、欧州を中心に世界各地の国や地方自治体で実施が広がっています。参加者を無作為に選ぶことで、社会の多様性を反映した議論が可能となり、特定の業界や利害関係者の影響を受けにくい形で、市民の幅広い意見を政策提言に反映できる点が特徴とされています。

脱炭素社会への移行には、市民一人ひとりの理解や行動の変化が重要であることから、気候市民会議は、市民が情報提供を受けながら議論を重ね、その意見を今後の取組につなげていくための手法として活用されています。

多摩市における気候市民会議の経過

令和5年度



全5回の会議を行い、
145件の取組を提案しました。

令和6年度



前年度の気候市民会議の提案から、
市民や事業者に対して行動変容を呼
びかける内容を考えました。

出典) 令和7年度多摩市気候市民会議（第1回）進行資料

2 令和7年度の目的

令和7年度は、令和6年度の環境政策の取組実績の評価と、現時点で力を入れて取り組むべき項目を選択し、もっと取組が進むようにするための工夫を提案してもらうことを目的としました。

3 実施体制

参加者：19名（応募者23名）

主催：多摩市

講師：沼田 真也 氏（東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授、多摩しみどりと環境審議会会長）

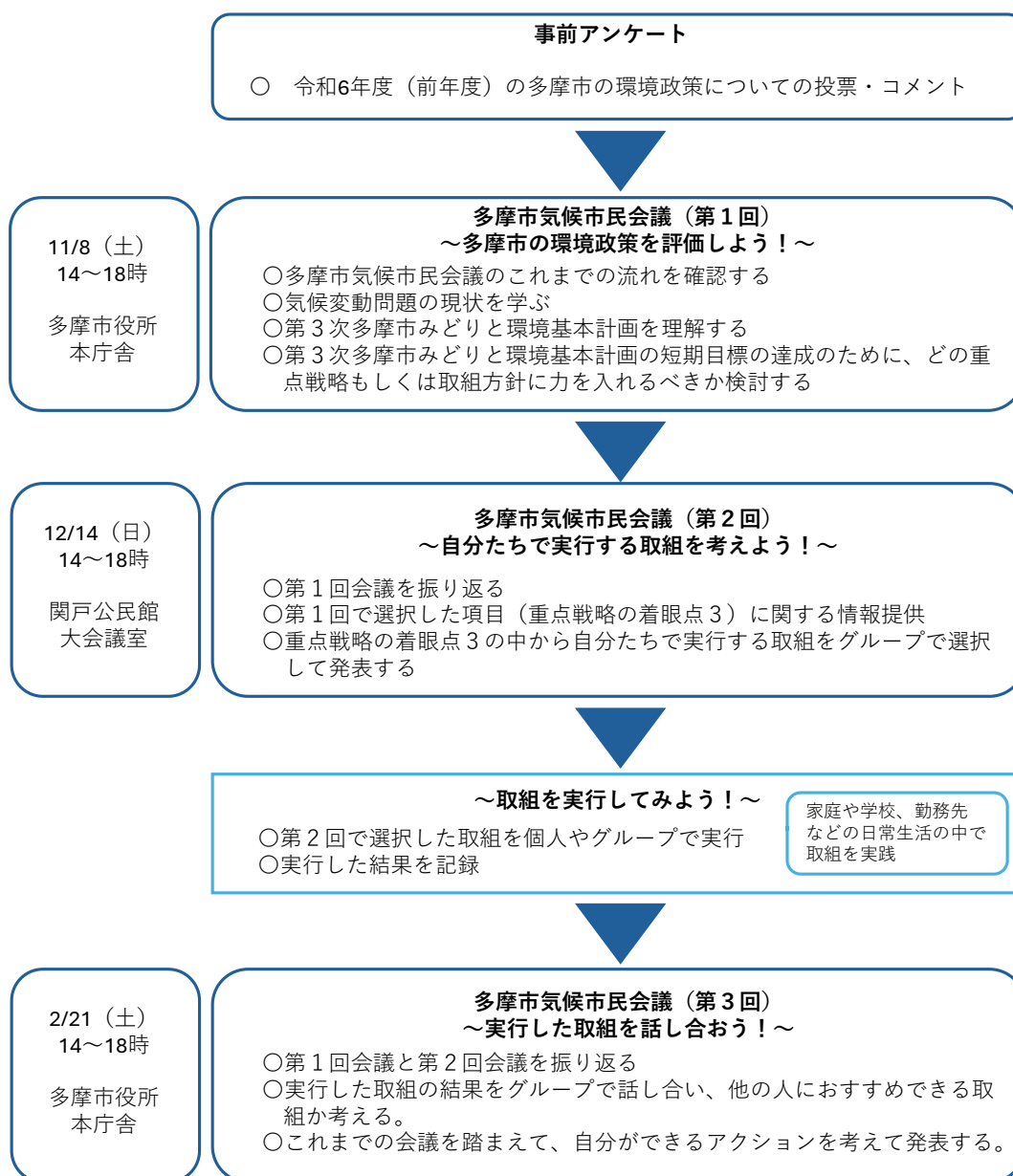
運営事務局：多摩市環境部環境政策課

事務局補助：アオイ環境株式会社

4 実施状況

(1) 全体の流れ

令和7年度多摩市気候市民会議の進め方を以下に示します。



(2) 各回の日時・場所、講師等

令和7年度多摩市気候市民会議の各回の日時・場所、講師等を以下に示します。

各回の日時・場所、講師等の情報

回	日時・場所	講師・情報提供者
第1回	令和7年11月8日(土) 14:00~18:00 多摩市役所	【講師】 沼田 真也 氏 (東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授) (多摩市みどりと環境審議会会長) 【情報提供者】 佐藤 彰洋 (多摩市環境部環境政策課長)
第2回	令和7年12月14日(日) 14:00~18:00 関戸公民館	【講師】 沼田 真也 氏 (東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授) (多摩市みどりと環境審議会会長)
第3回	令和8年2月21日(土) 14:00~18:00 多摩市役所	【講師】 沼田 真也 氏 (東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授) (多摩市みどりと環境審議会会長)

5 参加者の選定方法

(1) 参加対象者区分の設定

①無作為抽出された市民

幅広い世代、環境危機に関心がある人もない人も参加することで、一方に偏らないバランスの取れた結果が出やすくなります。また、その結果を公表する際、参加者以外の市民、事業者に対する説得力が増します。

②市内の高等学校の生徒（学校推薦）

気候変動対策は将来にわたって取り組むべきものであることから、若いうちに関心を持ち、学習・実践を通じて気候危機を当事者として意識することが重要です。高等学校等の生徒が参加することで、参加する本人だけでなく、各学校に持ち帰って授業等での発表により他の生徒も触発されることが期待できます。

③多摩市民環境会議のメンバー

当該団体は長年にわたり市の事業を協働で行っている中で、メンバーの高齢化や団体の新陳

代謝を図ることができていないという課題があります。気候市民会議に参加することで、これまでの経験の共有、気候市民会議の参加者が当該団体へ参加するようになることなどが期待できます。

(2) 参加候補者の選出（無作為抽出による市民）

令和7年度多摩市気候市民会議の参加候補者は、多摩市住民基本台帳から無作為抽出をした後、抽出した方へ参加希望を確認する方法により選出しました。

参加候補者の選出の過程を以下に示します。

無作為抽出の方法

- ・令和7年6月1日時点で市内在住の満16歳～69歳となる1,000名を抽出
- ・年代、性別、居住地の構成は、多摩市住民基本台帳を用いて、市の人口統計に合わせた構成となるように設定

参加希望の確認方法

- ・抽出した方全員へ、令和7年9月26日に会議の概要を示した案内（次ページ参照）を郵送（発送）し、参加希望を確認

参加候補者の選出結果

- ・参加希望があった9名を候補者として選出し、うち、5名が参加

(3) 参加人数

実際の参加人数の内訳を以下に示します。

参加対象者区分ごとの参加数

区分	男性	女性	計
無作為抽出による市民（16歳～69歳）	4人	1人	5人
市内の高等学校の生徒（学校推薦）	6人	6人	12人
多摩市民環境会議のメンバー	2人	0人	2人
合計	12人	7人	19人

年代ごとの参加数

年代	男性	女性	計
16～19歳	6	6	12
20代	0	0	0
30代	0	0	0
40代	1	1	2
50代	2	0	2
60代	1	0	1
70代	1	0	1
80代	1	0	1
合計	12	7	19

II 令和7年度多摩市気候市民会議の実施結果

I 事前アンケート

(1) アンケートの概要

令和7年度の多摩市気候市民会議の目的の1つとして、第3次多摩すみどりと環境基本計画(計画期間:令和6年度~令和15年度)の令和6年度実績の評価があります。参加者に対して現時点で同計画において力を入れるべき分野や市民としてできること等を考えていただくアンケートを実施しました。アンケートの内容は以下の通りです。

Q1. 現時点で力を入れるべき「短期目標」を選び、次の2つの観点から理由を回答してください。

- ① 管理指標の進捗状況(△⇔□の数)からみた感想
- ② 特に気になる管理指標(1つだけ)

Q2. 現時点で力を入れるべき分野において、最も力を入れるべき(短期目標の達成に貢献する)「重点戦略(着眼点)」を選び、次の2つの観点から理由を回答してください。

- ① 管理指標の進捗状況(△⇔□の数)からみた感想
- ② 特に気になる管理指標(1つだけ)

Q3. 現時点で力を入れるべき分野において、最も力を入れるべき(短期目標の達成に貢献する)「取組方針」を選び、次の2つの観点から理由を回答してください。

- ① 管理指標の進捗状況(△⇔□の数)からみた感想
- ② 特に気になる管理指標(1つだけ)

Q4. 現時点で最も力を入れるべき分野を、2と3で回答した重点戦略及び取組方針のいずれかから選択し、その理由を回答してください。

Q5. 4で回答した項目のなかで、市民の取組として力を入れるべき取組を選択し、その理由を回答してください

(2) アンケートの結果

アンケートの結果は以下の通りです。

Q1. 現時点で力を入れるべき「短期目標」

短期目標 (分野)	割合	①管理指標の進捗状況 からみた主な感想	②特に気になる 管理指標	②の理由
安全・健康で快適な生活環境の保持 (生活環境)	62.5% (5票)	<ul style="list-style-type: none"> 他の項目と比べて進捗が最も悪い 環境政策の中でも市民の暮らしに直結する領域で停滞が見られる ↓の理由が、不可抗力によるものである為、↑にする難しさを感じた。 今後は、気候適応や市民行動との連携を強化し、快適性を「体感できる環境指標」として再設計することが重要。 	ポイ捨てのないきれいなまちと感じる市民の割合	<ul style="list-style-type: none"> 中心部より人の目が少ない河川敷等に、ポイ捨てが見られる 最も身近に感じやすい項目のため 主観指標であり、市民の実感をよく反映する。市民の倫理観や他者への配慮、地域社会の成熟度を写すと考えられる。ハードインフラの整備にとどまらない、市民の行動様式やしきるべき文化形成を目標とすべき。
カーボンハーフの達成に向けた行動の実践 (地球環境)	12.5% (1票)	<ul style="list-style-type: none"> ↑が全体的に多くこのまま進めていきたい。 	資源化率	<ul style="list-style-type: none"> 資源化率を上げることが最もカーボンハーフへの近道だと考えた
意識と行動の変革につながるムーブメント (環境活動)	25% (2票)	<ul style="list-style-type: none"> 他の項目と比べて進捗が最も良い イベント情報の入手手段が分からない 参加することで生活行動に変化があるのか 	環境啓発イベントや環境学習の機会に参加している又は参加したいと考える市民の割合 商品を選択する際には、環境配慮マークやCO2排出量の表示を参考に選ぶ市民の割合	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性が大事 意識から行動、行動したがい買わない、買えないなど、結論までの割合もどの程度なのか知りたい

Q2. 現時点で力を入れるべき分野において、最も力を入れるべき「重点戦略（着眼点）」

短期目標 (分野)	重点戦略 (着眼点)	割合	①管理指標の進捗状況 からみた主な感想	②特に気になる 管理指標	②の理由
安全・健康で快適な生活環境の保持 (生活環境)	着眼点1	12.5% (1票)	<ul style="list-style-type: none"> ある程度結果は出ているが、企業との連携も必要である。ミストシャワーの設置なども検討するべき 	世帯当たりエネルギー消費量（家庭部門）	<ul style="list-style-type: none"> 気温の上昇のため、家庭のエアコンの使用も増えており、効率の良い使用方法等の啓蒙、公共施設での日中の高齢者の受け入れ等で使用量を抑える等の対策
	着眼点2	12.5% (1票)	<ul style="list-style-type: none"> 管理指標が100%達成しているのは評価できる 	生き物調査隊への参加人数	<ul style="list-style-type: none"> 目標値の倍以上の実績値で、進捗がとても良い。実際の活動があると集まりやすかった
	着眼点3	37.5% (3票)	<ul style="list-style-type: none"> 自ら実施できることがあると感じたため 進捗率25%は、地域資源の循環構築がまだ緒に就いた段階であることを示す。廃棄物・再エネ・地産地消を一体化したローカル循環経済の形成が遅れており、市民・事業者の協働による“見える資源循環モデル”の確立が今後の鍵となる。 	マイボトル用給水機の設置を増やす【定性指標】 マイバックやマイボトルを持ち歩く市民の割合	<ul style="list-style-type: none"> 公園の水飲み場とは別に給水器が必要な理由が分からない 外出時に不便を感じる事が多い 環境意識の浸透を最も直接的に示す行動指標であり、脱プラスチック社会への定着度や行動変容の継続性を測る鍵である。市民文化としての環境行動が根づいているかを判断する上で極めて重要である。
カーボンハーフの達成に向けた行動の実践 (地球環境)	着眼点3	12.5% (1票)	<ul style="list-style-type: none"> 全体的にダウン傾向にあるので改善していきたい。 	マイバックやマイボトルを持ち歩く市民の割合	<ul style="list-style-type: none"> マイボトルやマイバックを持つことでプラスチックゴミの約15%を削減できると考えた。また、水以外にも有料でお茶や清涼飲料水が出る機械も設置するとさらに促進されると考えた。
意識と行動の変革につながるムーブメント (環境活動)	着眼点2	12.5% (1票)	<ul style="list-style-type: none"> 目標値を維持しているのので、このまま2050年まで維持し続けることが良いと感じた。 	生き物調査隊への参加人数	<ul style="list-style-type: none"> 生き物調査隊というのを初めて聞いたから
	着眼点4	12.5% (1票)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の影響がこういった所にもあるのかと感じた。子育て世代も気付いて意識していくことが大切だと思う。 	SNSによる環境情報発信回数	<ul style="list-style-type: none"> 多摩市にいなから、じぶんごとプラネットを知らなかった。新聞や多摩広報を見ない人へも周知すべき。発信回数は勿論だが、興味がない人の目に止まるような工夫が必要

出典) 令和7年度多摩市気候市民会議(第1回)解説資料

Q3. 現時点で力を入れるべき分野において、最も力を入れるべき「取組方針」

短期目標 (分野)	取組方針	割合	①管理指標の進捗状況 からみた主な感想	②特に気になる 管理指標	②の理由
安全・健康で快適な生活環境の保持 (生活環境)	取組方針 D	25% (2票)	・企業との連携の結果だけで個人的な内容が無い ・進捗率25%と低調で、安全・安心の実感が行政施策に十分反映されていない。越境的環境要因の影響を踏まえつつ、市民体感型の安心指標や情報発信を強化し、暮らしの安全を“見える形”で共有する仕組みが必要	clear skyサポート登録への参加事業者数（延べ数）	・市として対策が出来るから ・行政からの一方的な施策が「共に取り組む社会運動」に発展しているかどうかを測るバロメーターとなる。目標に対し実績が遅れている。
	取組方針 E	25% (2票)	・啓発運動の大切さ	まち美化キャンペーンの実施回数	・回数を増やすことで、啓発にも繋がると思ったため
	取組方針 F	12.5% (1票)	・短期目標だけでなく他の数値も高く気候変動への関心の高さが見えた	まち美化キャンペーン（多摩市市民清掃デー、ごみゼロデー）への参加団体・参加者数 ハザードマップを確認している市民の割合	・とくになし ・必ず知っておくべきだと思っていたが、数値が低く困惑した
カーボンハーフの達成に向けた行動の実践 (地球環境)	取組方針 I	12.5% (1票)	・+-ゼロの状況であると考えたため、↑の数を増やしていったほうがいい	マイバッグやマイボトルを持ち歩く市民の割合【重点戦略】	・最も動きやすく、やりやすい分野だと考えた。
意識と行動の変革につながるムーブメント (環境活動)	取組方針 E	12.5% (1票)	・進捗状況が100%↓	まち美化キャンペーン（多摩市市民清掃デー、ごみゼロデー）への参加団体・参加者数	・清掃デーは必要だと思ったから。
	取組方針 J	12.5% (1票)	・全て↑で一人一人の意識と行動が社会に変化を起こすことが実感できることが大切だと思う。人ら効果を感じなければ長く続けられないから。	子どもを対象とした環境啓発イベントの実施回数（事業）	・自然を守る意識や、水や自然が有限だという意識を子供達に知って欲しい。

Q4. Q2とQ3を踏まえて、現時点で最も力を入れるべき「重点戦略」または「取組方針」

短期目標 (分野)	重点戦略 取組方針	割合	主な理由
安全・健康で快適な生活環境の保持 (生活環境)	着眼点 1	12.5% (1票)	・取り組み方針はまだまだあると思うし、改善して行くべき、新たな取り組み方針もあるのでは
	着眼点 2	12.5% (1票)	・多摩市に住んでいて一番の魅力と言える部分だから
	着眼点 3	25% (2票)	・全分野を通じてみても、着眼点 3 の進捗率25%は最低水準。つまり「地域の資源循環」に関する取組が、他の重点戦略（気候危機対策やライフスタイル変革など）に比べて進展していないことが示されている。これは、行政主導の省エネ・脱炭素よりも、地域レベルの資源循環（リユース、リサイクル、食品ロス削減、地域資源の地産地消）の仕組みづくりが難航していることを反映しているのでは。
	取組方針 E	12.5% (1票)	・自身でできることがある為
カーボンハーフの達成に向けた行動の実践 (地球環境)	取組方針 I	12.5% (1票)	・まずはこれから始めるのが一番最短ルートだと考えた。
意識と行動の変革につながるムーブメント (環境活動)	着眼点 2	12.5% (1票)	・多摩市は緑が多いから。
	着眼点 4	12.5% (1票)	・多種多様にしていかなければ、知る事もない人がいるし、知ってても出来ない人がいるだろうし、結果が出るまでのプロセスと結果がつまらなければ人はやめてしまう。やって良かったと思える、やりやすいまちづくりや発信が大切だと思う。

出典）令和7年度多摩市気候市民会議（第1回）解説資料

Q5. Q4で回答した項目のなかで、 市民の取組として力を入れるべき取組

短期目標 (分野)	取組 (分野)	取組	票数	主な理由
安全・健康で快適な生活環境の保持 (生活環境)	【1-4】市民の健康・安全を守るための気候変動への適応	普段のご近所づきあいを通じて、高齢な方や小さいお子さんの健康状態等にも関心を持つとともに、水分補給や適切な冷房の使用などの熱中症予防対策についても話し合おうにします。	12.5% (1票)	・ミストシャワーの設置
	【2-3】都市における生物多様性の理解促進	市が実施する生物多様性セミナーや自然観察会などに積極的に参加し、生物多様性の理解に努めます。	12.5% (1票)	・生物多様性に関して理解が深まれば多様性の保全や活用もしやすくなると考えたから
	【3-2】プラスチック対策の推進	マイバッグを持参して過剰包装を断ったり、詰め替え可能な商品を買ったりして、プラスチックごみの減量に心がけます。	12.5% (1票)	・マイバッグを持ち歩いたり、詰め替え製品を選ぶ行動は、行政に頼るのではなく一人ひとりが「自ら変える」行動を示すもの。この選択の意識化が環境行動の定着を生む第一歩であり、環境教育を社会で実装する象徴的行動といえる。
		市民団体等は、市と連携し、河川の清掃やプラスチックごみの除去、プラスチック利用削減の啓発などの活動を推進します。	12.5% (1票)	・観点が違うかもしれないが河川清掃は大事と思うため。
	E1：まちの美化対策	河川の一斉清掃やまちなかのごみ拾いなど、まちの美化活動に協力します。	12.5% (1票)	・最も力を入れるべき項目だと思ったため
カーボンハーフの達成に向けた行動の実践 (地球環境)	I4：プラスチックの削減	使い捨てのプラスチック製品の使用を極力避けて、マイボトル・マイ箸・マイ容器などを使うようにします。	12.5% (1票)	・マイボトルを持つなどは市民ができる一番手っ取り早いと考えた
意識と行動の変革につながるムーブメント (環境活動)	【2-2】協働による生物多様性の保全のための活動の促進	市が実施する生物多様性セミナーや生き物調査、自然観察会、ボランティア講座などに積極的に参加し、生物多様性やみどりの理解に努めます。	12.5% (1票)	・緑豊かな生物多様性の街になって欲しいから。
	【4-1】脱炭素ライフスタイルへの転換	気候変動や脱炭素社会に関する情報を積極的に収集し、理解を深めるとともに、自らのライフスタイルについて考え、まわりの人と話し合います。	12.5% (1票)	・実際脱炭素ライフに取組ながら生活している

出典) 令和7年度多摩市気候市民会議(第1回)解説資料

2 第 1 回会議

(1) 会議の概要

日 時：令和 7 年 11 月 8 日（土） 14:00～18:00

場 所：多摩市役所

参加者数：18 名

テ ー マ：多摩市の環境政策を評価しよう！

講 師：沼田 真也 氏

（東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授、多摩市みどりと環境審議会会長）

情報提供：佐藤 彰洋（多摩市環境部環境政策課長）

(2) 会議のプログラム

第 1 回会議のプログラムを以下に示します。

第 1 回会議のプログラム

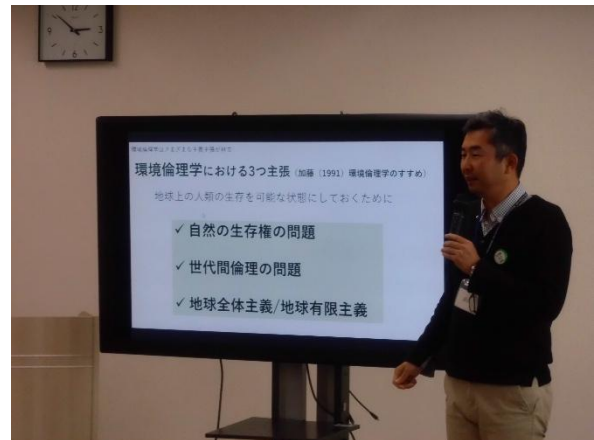
時刻	時間	プログラム
14:00～	5 分	開会、主催者挨拶
14:05～	10 分	オリエンテーション
14:15～	30 分	情報提供①：環境に関する情報提供
14:45～	30 分	情報提供②：第 3 次多摩市みどりと環境基本計画と令和 6 年度の年次報告書（案）について
15:15～	10 分	休憩
15:25～	10 分	自己紹介と情報提供の感想の共有、グループワークの進め方の説明
15:35～	55 分	グループワーク① ・ 現時点でどの分野の短期目標に力を入れるべきか、意見を出し合う
16:30～	40 分	グループワーク② ・ 短期目標の達成のために、どの重点戦略もしくは取組方針に力を入れるべきかを選ぶ
17:10～	10 分	グループワーク③ ・ 話し合った内容をワークシートにまとめる
17:20～	20 分	発表
17:40～	15 分	投票
17:55～ 18:00	5 分	閉会、事務連絡

(3) 当日の様子

【講演や情報提供の様子】



多摩市長からのメッセージ



【情報提供】環境問題を考える
(沼田 真也 氏)



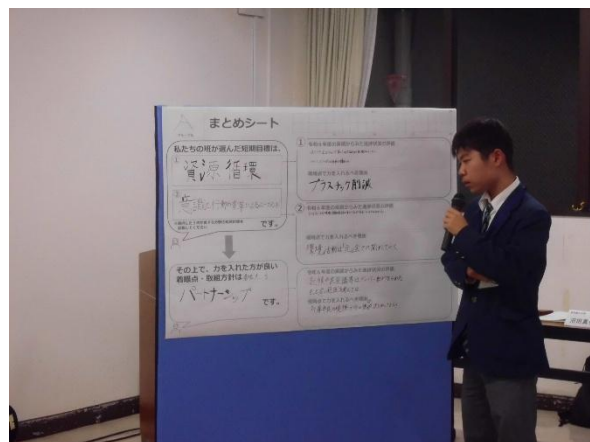
【情報提供】第3次多摩市みどり環境基本計画について
(多摩市 環境政策課長)



【グループワークの様子】



【グループワークの様子】



【発表の様子】

【グループワーク① Aグループ結果】

自然環境 <small>長期目標</small> 持続可能なみどりの保全 <small>短期目標</small> 自然と暮らしが調和した多摩のみどりづくり 達成状況 ↑69% ⇔6% ↓25%		生活環境 <small>長期目標</small> 安全・健康で快適な生活環境の実現 <small>短期目標</small> 安全・健康で快適な生活環境の保持 達成状況 ↑58% ⇔4% ↓38%		
・水とみどりのネットワークの回復・形成 ・生物多様性にも配慮した暮らしの実践	持続可能なみどりの管理手法の確立	生活環境の保持 (大気・水質)	生活環境の保持 (まちの美化)	気候変動への適応力の強化
・外来生物の除去について知らなかった ・市民参加型の生き物調査も学校で大きく取り上げられていない。(知らなかった) ・多摩市の恵まれた自然を愛感しているのか？ ・中央公園がキレイになった	・高齢化により活動人員の減少 ・年々樹木が高くなり、管理が難しくなっている ・水辺、公園緑地の市民満足度が「⇔」は、なを求めて不満 ・みどりの市民活動団体数が「0」だが、みどりの管理は、行政が実施している所もあるから「0」でも平気？	・「水質」に関わる問題が多い。認識されていない。PR 大事！！ ・多摩川、乞田川がキレイになった ・生活家庭排水に気を付ける ・サポーター登録への参加事業者数「0」全然知らなかった。	・ゴミのポイ捨てが減っていると思う。 ・市民の割合が低いのに、まち美化キャンペーンが「0」だから成り立っていないのではないかと？	・ハザードマップで確認。本当に必要な時にしてる？ ・全て「0」だからこのままで良いと思う。
地球環境 <small>長期目標</small> 持続可能で地球に優しいライフスタイルを取り入れた社会の実現 <small>短期目標</small> カーボンハーフの達成に向けた行動の実践 達成状況 ↑65% ⇔0% ↓35%		環境活動 <small>長期目標</small> 環境共生都市を支える市民活動の実現 <small>短期目標</small> 意識と行動の変革につながるムーブメント 達成状況 ↑83% ⇔×0 ↓17%		
カーボンハーフ	資源循環	ムーブメントの醸成	連携・協働して取り組む体制の構築	
・市内エネルギー消費量「0」どこがどう必要としてくるのか。 ・エネルギー消費が多い ・市施設の電気使用量が多い。省エネ！！ ・CO2排出量が多い。CO2を抑える。他のエネルギーを使う。CO2エネルギーにできる開発を行う。	・マイバッグ、マイボトル持参は常識ではマイボトル「0」学校ではペットボトルばかり ・個包装が町ゴミで圧倒的に多い ・マイバッグ、マイボトル減っているのか ・スーパーエコショップ食べ切り協力店認識されていない ・資源化率が「0」なので4Rができていない ・河川清掃ボランティアを学校で募集する！！ ・給水ポイントが分からない	・環境イベント子どもの数「0」もっと増やしていきたい。 ・参加人数本当に増えているか ・CO2排出量の表示を参考に物を選ぶ。皆協力したいと思っている。押せばいい。 ・商品を選択する際に環境配慮マークやCO2排出量を気にする人が増えているが、もっと増やすためCO2排出量を分かりやすく表示する ・SNSによる環境情報発信回数は増えているが、伝わっているかは分からない ・紙ベース、SNS、リーフレット、リマインドを活用し、多くの人目に触れるようにする ・SNSで発信しているらしいが、自分は知らなかった ・環境活動は「元」。全てに関わっていく	・子供をターゲットにしたイベントは多いが、今の20~40代程の人々をターゲットにしたものが少ない ・市民から参加してもらいたいイベントが多いので、こちらから学校へ赴くようにするといったと思った。	



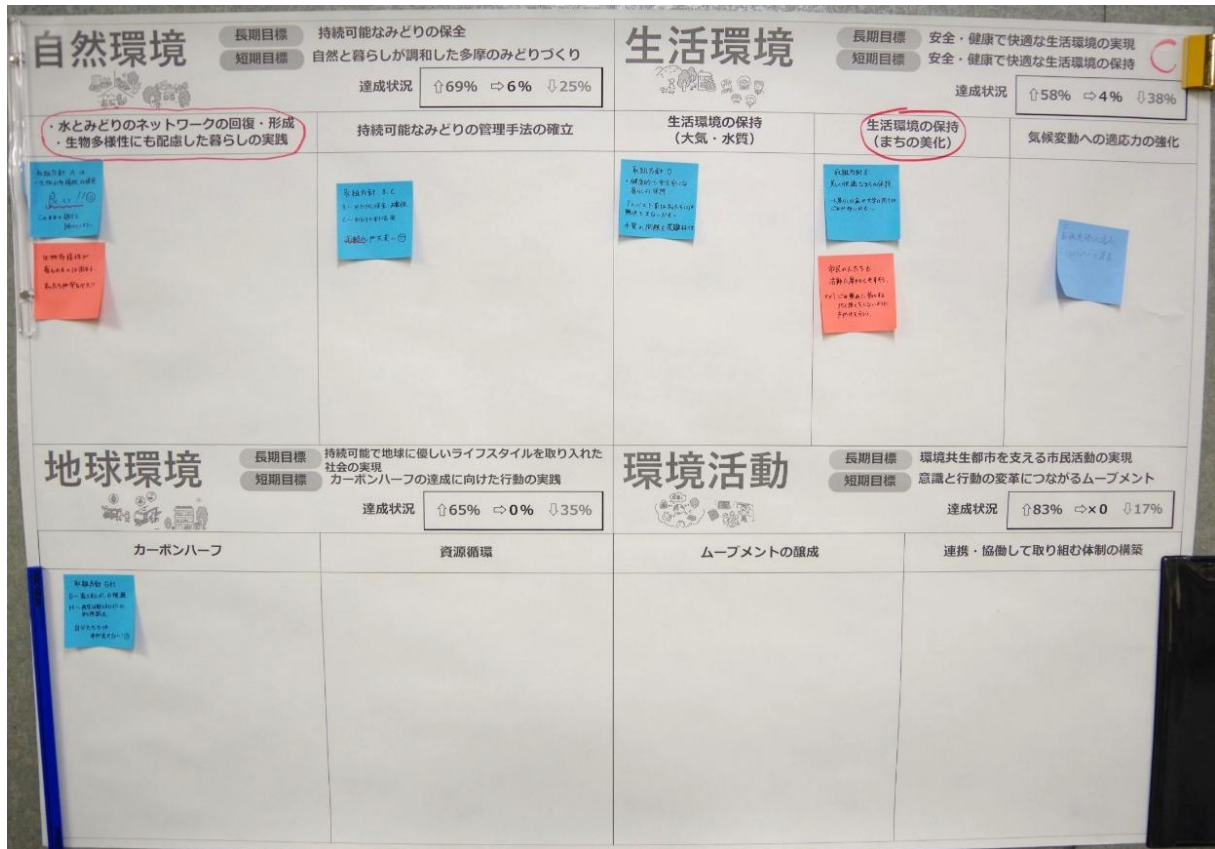
【グループワーク① Bグループ結果】

<h3>自然環境</h3> <p>長期目標 持続可能なみどりの保全 短期目標 自然と暮らしが調和した多摩のみどりづくり</p> <p>達成状況 $\uparrow 69\%$ $\rightarrow 6\%$ $\downarrow 25\%$</p>		<h3>生活環境</h3> <p>長期目標 安全・健康で快適な生活環境の実現 短期目標 安全・健康で快適な生活環境の保持</p> <p>達成状況 $\uparrow 58\%$ $\rightarrow 4\%$ $\downarrow 38\%$</p>		
<p>・水とみどりのネットワークの回復・形成 ・生物多様性にも配慮した暮らしの実践</p>	<p>持続可能なみどりの管理手法の確立</p>	<p>生活環境の保持 (大気・水質)</p>	<p>生活環境の保持 (まちの美化)</p>	<p>気候変動への適応力の強化</p>
<p>・公園など多いみどり率。駅近くでもたくさんみどりがある。みどりの多さが生物多様性を守っている？ ・緑が多い町並みが良い。しかし管理が追い付かない。気候温暖化も言える。</p>	<p>・瓜生緑地しか見ていないが、汚れているので「\rightarrow」ではない？ ・聖蹟桜ヶ丘駅周辺の木切りすぎ。切っても又植えてほしい。</p>	<p>・日影を作ってくれる大木等を中心にして涼しい空間があれば人々が涼みに寄れるのでは？ ・水質汚染の影響で生物が増える原因になりそう ・ニュータウン通り、毎晩のように爆音バイク。環境にもよくない。取締れない？</p>	<p>・この3~5年で聖蹟桜ヶ丘は、マンションが雨後の筈状態。川辺の122mのタワーマンで近所の幼稚園からの景観、日照が悪化。園の反対意見はどれだけ反映したのか？ ・キレイなまちと感じているので、無理にマイナスとする必要もない ・町中のペットボトル用のゴミ箱に一般ゴミが捨てられているのをよく見かける。→町中にも少しゴミ箱があればポイ捨ても減る？ ・多摩センターの川沿いのポイ捨てが多い→清掃活動に参加している人が少ない？ ・キレイな設備や施設が増えてきてキレイな町になってきている</p>	<p>・夏の暑さが長すぎて外出を控える人が多くなった。町に人影が途絶えてしまった。</p>
<h3>地球環境</h3> <p>長期目標 持続可能で地球に優しいライフスタイルを取り入れた社会の実現 短期目標 カーボンハーフの達成に向けた行動の実践</p> <p>達成状況 $\uparrow 65\%$ $\rightarrow 0\%$ $\downarrow 35\%$</p>		<h3>環境活動</h3> <p>長期目標 環境共生都市を支える市民活動の実現 短期目標 意識と行動の変革につながるムーブメント</p> <p>達成状況 $\uparrow 83\%$ $\rightarrow 0$ $\downarrow 17\%$</p>		
<p>カーボンハーフ</p>	<p>資源循環</p>	<p>ムーブメントの醸成</p>	<p>連携・協働して取り組む体制の構築</p>	
<p>・熱が建物の中に入らないように工夫したら、冷房の使用率を減らすことができるのではないか。冬の窓をより厚みのある作りのものを利用するなどして熱を逃がさないようにする。窓のコスト高い。 ・二酸化炭素を抑えるために電車を利用する。水素カーなど。 ・お店などで自動ドアのドアが多く、開ける頻度が多くなり、外の熱が入ってきて店の冷房を使い、環境悪い。</p>	<p>・マイボトル用給水機は増えてきたのかも知れないが、どこにあるかわからないし、この会議に参加するまで知らなかった。 ・スーパーなどで販売するバッグを、プラスチックバッグではなく紙製のものにする。 ・エコバッグの利用。ビニール袋を使わないように。 ・マイバッグを持参する人が少ない→ビニール袋を積極的に渡してしまう店が多いから。→一番気軽に参加できると思う。ビニールをやめる。</p>	<p>・子どもを対象としたイベントで、低年齢から楽しく意識させられているのは良いと思う。 ・向の丘自治会では自主的に資源紙ゴミの収集をしているが良い。 ・SNSを利用した情報の発信は、若者が利用しやすく良いと思う。→ご年配の方はどうやって情報を得るの？</p>	<p>・市民だけでなく、市内事業者も交えた意見交換の場を作るべき。 ・会議のアップデートを考えるなら、毎年メンバーを入れ替えるのではなく、1/3くらい残る人がいても良いのでは？</p>	



【グループワーク① Cグループ結果】

自然環境 <ul style="list-style-type: none"> 長期目標 持続可能なみどりの保全 短期目標 自然と暮らしが調和した多摩のみどりづくり 達成状況 ↑69% ⇨ 6% ↓25%		生活環境 <ul style="list-style-type: none"> 長期目標 安全・健康で快適な生活環境の実現 短期目標 安全・健康で快適な生活環境の保持 達成状況 ↑58% ⇨ 4% ↓38%	
水とみどりのネットワークの回復・形成 生物多様性にも配慮した暮らしの実践		生活環境の保持 (大気・水質)	
持続可能なみどりの管理手法の確立		生活環境の保持 (まちの美化)	
取組方針Aは良い!!このままの調子で続けていきたい。 生物多様性が奪われるのは困る。私たちが守るめさ!!		取組方針D. アスベスト系は私たちに解決できないかも...。水質の問題を意識するべき	
取組方針B,C. 高齢化が大変		取組方針E. 一人暮らしの家や大学の周りほごみが多いかも... 市民の人たちも活動に参加しやすそう。(例:ごみ集めに参加する。ポイ捨てを行わないように声掛けを行う)	
気候変動への適応力の強化		取組方針F. ミストシャワーの設置	
地球環境 <ul style="list-style-type: none"> 長期目標 持続可能で地球に優しいライフスタイルを取り入れた社会の実現 短期目標 カーボンハーフの達成に向けた行動の実践 達成状況 ↑65% ⇨ 0% ↓35%		環境活動 <ul style="list-style-type: none"> 長期目標 環境共生都市を支える市民活動の実現 短期目標 意識と行動の変革につながるムーブメント 達成状況 ↑83% ⇨ 0 ↓17%	
カーボンハーフ		ムーブメントの醸成	
資源循環		連携・協働して取り組む体制の構築	
取組方針G,H. 自分たちでは手が出せない!			



グループワーク

2 短期目標の達成のために、どの着眼点もしくは取組方針に力を入れるべきか、を選びます。

進め方

みんなで

【選んだ短期目標が**同じ分野**の場合】

①-1 短期目標に紐づく取組方針（A～K）について、話し合い、取組方針を1つ選ぶ

自然環境	生活環境
水とみどりのネットワークの回復・形成 生物多様性にも配慮した暮らしの実践	持続可能なみどりの管理手法の確立

【選んだ短期目標が**複数の分野**の場合】

①-2 選んだ短期目標に関する着眼点（1～5）について、話し合い、着眼点を1つ選ぶ

自然環境	生活環境
水とみどりのネットワークの回復・形成 生物多様性にも配慮した暮らしの実践	持続可能なみどりの管理手法の確立

27

グループワーク

【選んだ短期目標が**同じ分野**の場合】

①-1 短期目標に紐づく取組方針（A～K）について話し合い、取組方針を1つ選ぶ

進め方

みんなで

① 各短期目標が該当する取組方針について、令和6年度の実績からみた進捗状況の評価を話し合う

個人で

② 話し合った内容を付箋に書いてワークシートの該当する取組方針の全ての枠に貼る

③ 進捗状況の評価を踏まえ、現時点で力を入れるべき理由を付箋に書く

みんなで

④ 力を入れた方が良い理由を発表しながら、付箋を該当する取組方針の枠に貼る

⑤ 貼られた付箋をもとにグループとして理由をまとめて、取組方針を1つ選ぶ

自然環境
長期目標 持続可能なみどりの保全 短期目標 自然と暮らしが調和した多摩のみどりづくり 達成状況 ↑69% ⇨6% ↓25%
・水とみどりのネットワークの回復・形成・生物多様性にも配慮した暮らしの実践 持続可能なみどりの管理手法の確立

短期目標	短期目標（小項目）	取組方針
自然と暮らしが調和した多摩のみどりづくり	水とみどりのネットワークの回復・形成	取組方針 A
	生物多様性にも配慮した暮らしの実践	取組方針 B,C
	持続可能なみどりの管理手法の確立	取組方針 D,E
安全・健康で快適な生活環境の保持	生活環境の保持（大気・水質）	取組方針 F
	生活環境の保持（まちの美化）	取組方針 G,H
	気候変動への適応力の強化	取組方針 I
カーボンハープの達成に向けた行動の実践	カーボンハープ	取組方針 J
	資源循環	取組方針 K
	意識と行動の変革につながるムーブメント	連携・協働して取り組む体制の構築

取組方針の話し合いシート	
取組方針：A	取組方針：B,C
進捗評価	理由

28

グループワーク

【選んだ短期目標が**複数の分野**の場合】

①-2 右のワークシートに沿って、選んだ短期目標に関係する着眼点(1~5)について話し合い、着眼点を1つ選ぶ

進め方

みんな

① 右のワークシートで確認した着眼点について、令和6年度の実績からみた進捗状況の評価を話し合う

個人

② 話し合った内容を付箋に書いてワークシートの該当する着眼点の全ての枠に貼る

③ 進捗状況の評価を踏まえ、現時点で力を入れるべき理由を付箋に書く

みんな

④ 力を入れた方がよい理由を発表しながら、付箋を該当する着眼点の枠に貼る

⑤ 貼られた付箋をもとにグループとして理由をまとめて、着眼点を1つ選ぶ

短期目標を複数選択した場合、以下のフロー図を使って、話し合う重点戦略を選びましょう！

START

選択した短期目標は、自然環境分野ですか？

- ・水とみどりのネットワークの構築・形成
- ・生物多様性にも配慮した暮らしの実践
- ・持続可能なみどりの管理手法の確立

No

選択した短期目標は、生活環境分野ですか？

- ・生活環境の維持（水質・水質）
- ・生活環境の維持（まちの美化）
- ・気候変動への適応力の強化

Yes ↓

Yes ↓↓

No ↓

あなたのグループで話し合う重点戦略は、

- 着眼点2：みどり・生物多様性
- 着眼点3：資源循環
- 着眼点4：ライフスタイルの改革

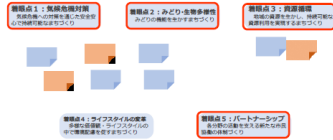
あなたのグループで話し合う重点戦略は、

- 着眼点1：気候危機対策
- 着眼点2：みどり・生物多様性
- 着眼点3：資源循環
- 着眼点5：パートナーシップ

あなたのグループで話し合う重点戦略は、

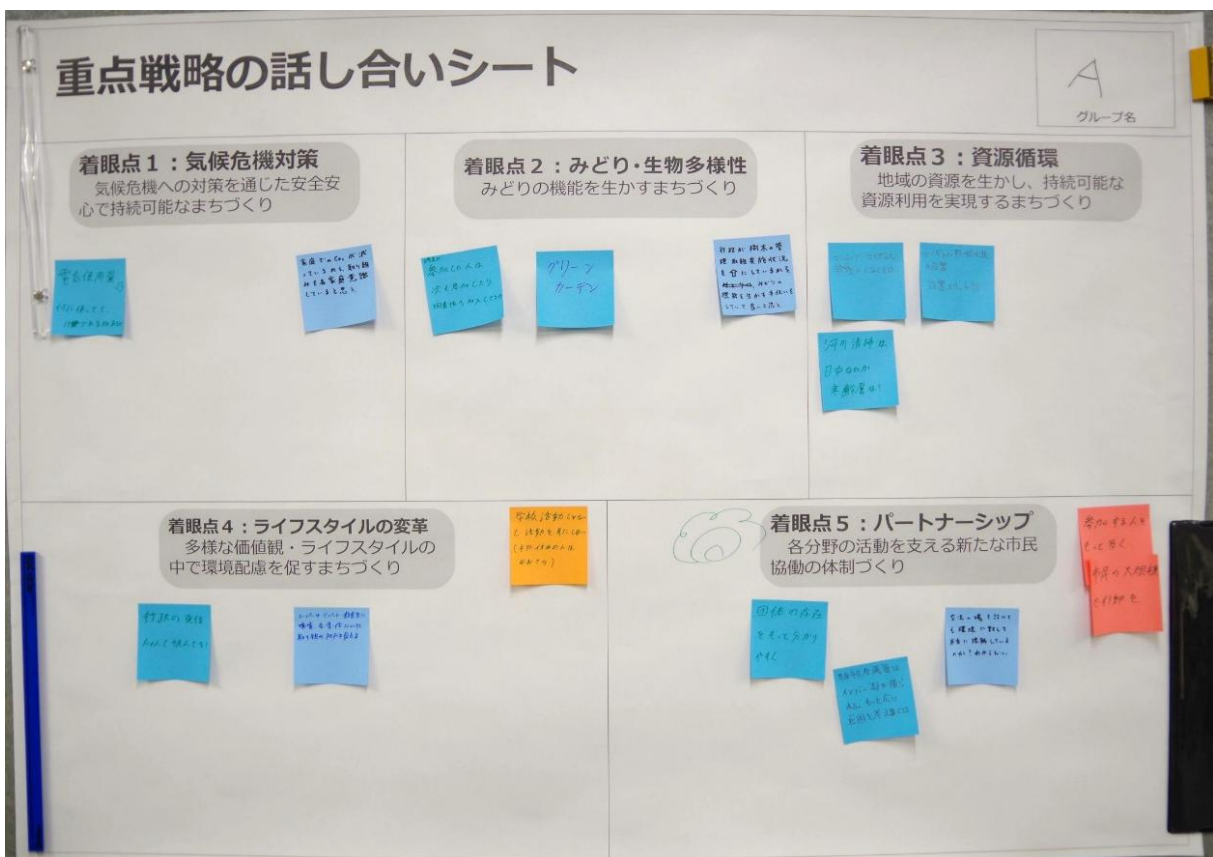
- 着眼点1：気候危機対策
- 着眼点2：みどり・生物多様性
- 着眼点3：資源循環
- 着眼点4：ライフスタイルの改革
- 着眼点5：パートナーシップ

重点戦略の話し合いシート

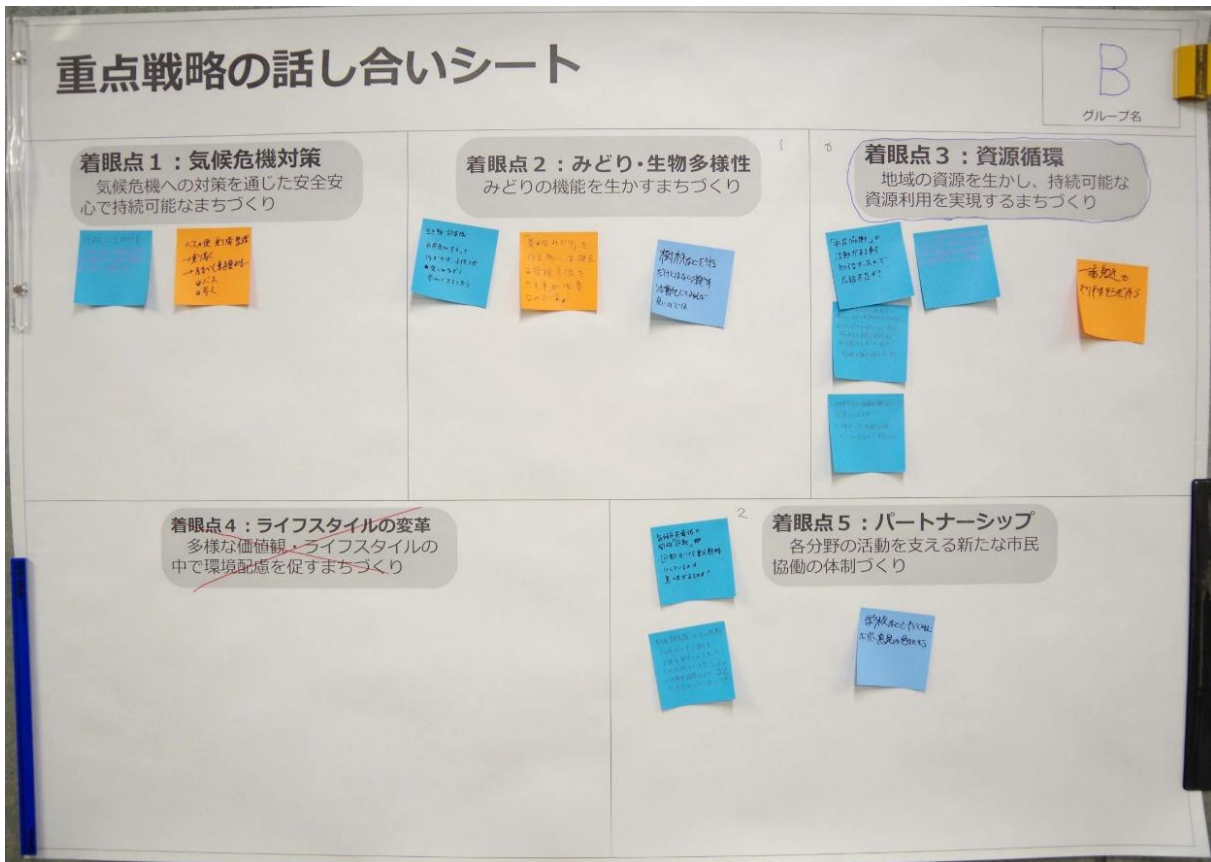


進捗評価 = 理由

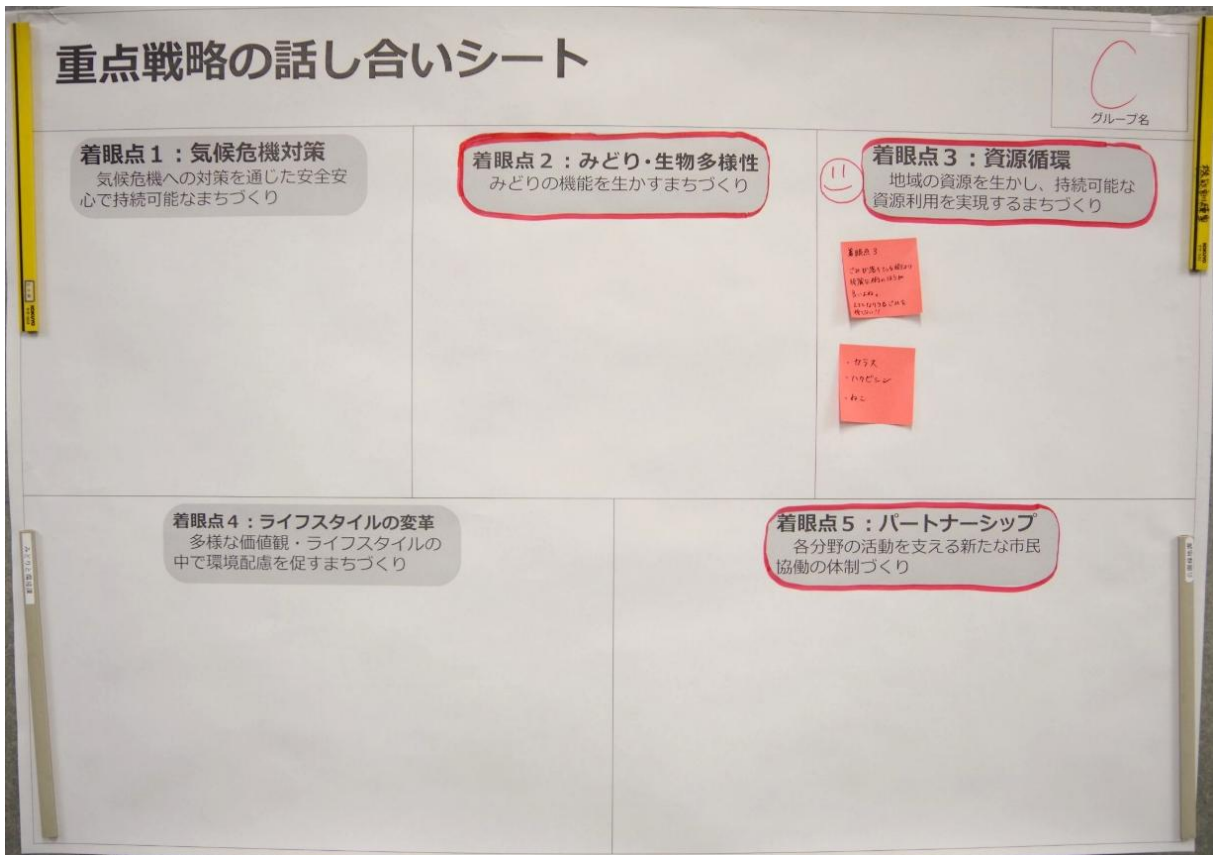
重点戦略の話し合いシート			A グループ名
<p>着眼点1：気候危機対策 気候危機への対策を通じた安全安心で持続可能なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気使用量0。何に使って、けずれる所あるの ・ 家庭でのCO2が減っているから、取り組みを各家庭意識していると思う 	<p>着眼点2：みどり・生物多様性 みどりの機能を生かすまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査に参加した人は、次も参加したり、調査隊へ加入しているの ・ グリーンカーテン ・ 行政が樹木の管理取組実施状況を公開しているから、みどりの機能を生かす手伝いをして良いと思う。 	<p>着眼点3：資源循環 地域の資源を生かし、持続可能な資源利用を実現するまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイバッグ、マイボトル常識にではなくては ・ マイボトル用給水機の設置のメリットは ・ 河川清掃は日中なのか、年齢層は？ 	
<p>着眼点4：ライフスタイルの変革 多様な価値観・ライフスタイルの中で環境配慮を促すまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政の発信ちゃんと読んでいる？ ・ スーパーやデパート、飲食店に、環境、衣食住に関するPOPを貼る ・ 学校活動じゃないと活動を耳にしない（市外住みの人はなおさら） 	<p>着眼点5：パートナーシップ 各分野の活動を支える新たな市民協働の体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の存在をもっと分かりやすく ・ 気候市民会議等はメンバー数が限られる。もっと広い範囲を考えては ・ 交流の場を設けても環境に対して本当に理解しているのか？わからない。 ・ 参加する人をもっと多く。市民の大規模で行動を 		



重点戦略の話し合いシート			B グループ名
<p>着眼点1：気候危機対策 気候危機への対策を通じた安全安心で持続可能なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政CO2排出量が少なくなっているのに、市の活性化という点で見ると良くないと思った。 バスの便、乗り場整理→乗り易く、なるべく車を使わない。バス、歩く。 	<p>着眼点2：みどり・生物多様性 みどりの機能を生かすまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 生き物調査隊。市民参加をもっと促せば、子供とか楽しみながら参加できると思う 「豊かなみどり」を作る為には健全な管理方法を示す事が必要なのでは。 樹林などを守るだけでなく増やす活動もしてみれば良いのでは 	<p>着眼点3：資源循環 地域の資源を生かし、持続可能な資源利用を実現するまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市民協働」の活動がある事を知らなかったので広報不足か？ マイボトル用給水機の設置は増えているが、周知できていないのでは？マイバッグやマイボトルを持ち歩く市民の割合をはじめとする他の割合も下がっているのを、重点的に解決すべきだと思う。 マイボトル用給水機の設置を増やす→増やした給水機はどこにあるの？発信してるの？ 一番身近でやりやすそうだから 	
<p>着眼点4：ライフスタイルの変革 多様な価値観・ライフスタイルの中で環境配慮を促すまちづくり</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">対象外</p>		<p>着眼点5：パートナーシップ 各分野の活動を支える新たな市民協働の体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候市民会議の開催「回数」。回数だけを重点戦略にしているのは意味があるのか？ 気候市民会議は、今の多摩市での生活の中で感じる不便な部分とかを知っている人の方がいいと思う。現状を知らない人が参加しても意味がない。→多摩市在住の人でやった方がいいと思う。 学校などでやってみれば良い意見が色々でそう。 	



重点戦略の話し合いシート		C グループ名
対象外	<p>着眼点1：気候危機対策 気候危機への対策を通じた安全安心で持続可能なまちづくり</p>	<p>着眼点2：みどり・生物多様性 みどりの機能を生かすまちづくり</p>
対象外	<p>着眼点4：ライフスタイルの変革 多様な価値観・ライフスタイルの中で環境配慮を促すまちづくり</p>	<p>着眼点3：資源循環 地域の資源を生かし、持続可能な資源利用を実現するまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみが落ちていない街よりも、ごみが落ちていない街のほうが良いよね。カラスやハクビシンのえさとなりうるごみが、現段階では多いから。 ・カラス ・ハクビシン ・ねこ <p>着眼点5：パートナーシップ 各分野の活動を支える新たな市民協働の体制づくり</p>



【グループワーク③ Aグループ結果】

A

グループ名

まとめシート

私たちの班が選んだ短期目標は、

① 資源循環
(カーボンハーフの達成に向けた行動の実践)

② 意識と行動の変革につながるムーブメント

※選択した2枠が属する分野の短期目標を記載してください

です。

↓

その上で、力を入れた方が良い
着眼点・取組方針は

(着眼点5)
パートナーシップ

です。

① 令和6年度の実績からみた進捗状況の評価

- ・スーパーエコショップ食べ切り協力が認識されていない
- ・マイバッグ、マイボトル持参は常識では

現時点で力を入れるべき理由

- ・プラスチック削減

② 令和6年度の実績からみた進捗状況の評価

- ・SNSによる環境情報の発信は増えているが、伝わっているかは分からない

現時点で力を入れるべき理由

- ・環境活動は「元」全てに関わっていく

令和6年度の実績からみた進捗状況の評価

- ・気候市民会議等はメンバー数が限られる。もっと広い範囲を考えては

現時点で力を入れるべき理由

- ・多摩市民の規模で今の状況を知ってもらう

A

グループ名

まとめシート

私たちの班が選んだ短期目標は、

① 資源循環

② 意識と行動の変革によるムーブメント

※選択した2枠が属する分野の短期目標を記載してください

です。

↓

その上で、力を入れた方が良い
着眼点・取組方針は 着眼点 5

パートナーシップ

です。

① 令和6年度の実績からみた進捗状況の評価

- ・スーパーエコショップ食べ切り協力が認識されていない
- ・マイバッグ、マイボトル持参は常識では

現時点で力を入れるべき理由

プラスチック削減

② 令和6年度の実績からみた進捗状況の評価

SNSによる環境情報の発信は増えているが、伝わっているかは分からない

現時点で力を入れるべき理由

環境活動は「元」全てに関わっていく

令和6年度の実績からみた進捗状況の評価

気候市民会議等はメンバー数が限られる
もっと広い範囲を考えては

現時点で力を入れるべき理由

多摩市民の規模で今の状況を知ってもらう

【グループワーク③ Bグループ結果】

B

まとめシート

グループ名

私たちの班が選んだ短期目標は、

① **生活環境の保持（まちの美化）**
（安全・健康で快適な生活環境の保持）

② **資源循環**
（カーボンハーフの達成に向けた行動の実践）

※選択した2枠が属する分野の短期目標を記載してください

です。

↓

その上で、力を入れた方が良い着眼点・取組方針は

（着眼点3）
地域の資源を生かし、持続可能な資源利用を実現するまちづくり
（例）定期的なまち美化キャンペーン **です。**

① **令和6年度の実績からみた進捗状況の評価**

現時点で力を入れるべき理由
 ボイ捨てが多く、ゴミの分別ができていないのをよく見かけるため

② **令和6年度の実績からみた進捗状況の評価**

現時点で力を入れるべき理由
 マイバッグの利用率が低く、もっと普及させるため

令和6年度の実績からみた進捗状況の評価

現時点で力を入れるべき理由
 身近で実践しやすいから

B

まとめシート

グループ名

私たちの班が選んだ短期目標は、

① **生活環境の保持**
（まちの美化）

② **資源循環**

※選択した2枠が属する分野の短期目標を記載してください

です。

↓

その上で、力を入れた方が良い着眼点・取組方針は

地域の資源を生かし、
 持続可能な資源利用を実現するまちづくり
（例）定期的なまち美化キャンペーン **です。**

① **令和6年度の実績からみた進捗状況の評価**

現時点で力を入れるべき理由
 ボイ捨てが多く、ゴミの分別ができていないのをよく見かけるため。

② **令和6年度の実績からみた進捗状況の評価**

現時点で力を入れるべき理由
 マイバッグの利用率が低く、もっと普及させるため。

令和6年度の実績からみた進捗状況の評価

現時点で力を入れるべき理由
 身近で実践しやすいから。

投票の結果は以下の通りとなり、令和7年度多摩市気候市民会議では、現時点で力を入れるべき重点戦略（着眼点）として、着眼点3が選定された。

- ・ A グループ（着眼点5）：12 票
- ・ B グループ（着眼点3）：10 票
- ・ C グループ（着眼点3）：14 票

【第1回多摩市気候市民会議 結果まとめ】

第1回多摩市気候市民会議の結果

現時点で力を入れるべき短期目標

分野	選ばれた短期目標	令和6年度の実績からみた進捗状況の評価や現時点で力を入れるべき理由
自然環境	自然と暮らしが調和した多摩のみどりづくり	・ 生物多様性が失われるのは、生態系のバランスが崩れるから（作物などが取れなくなり、自然災害が起きやすくなる）
生活環境	安全・健康で快適な生活環境の保持	・ ボイ捨てが多く、ゴミの分別ができていないのをよく見かけるため
地球環境	カーボンハーフの達成に向けた行動の実践	・ マイバッグの利用率が低く、もっと普及させるため

短期目標を達成するために、
現時点で力を入れるべき着眼点・取組方針

	選ばれた着眼点	令和6年度の実績からみた進捗状況の評価や現時点で力を入れるべき理由
着眼点3	地域の資源を生かし、持続可能な資源利用を実現するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダウン傾向が多くて、意識して行うべきだと思ったから ・ ごみが落ちている街よりも、ごみが落ちていない街のほうが良いよね。カラスやハクビシンのえさとなりうるごみが、現段階では多いから ・ 身近で実践しやすいから

3 第 2 回会議

(1) 会議の概要

日 時：令和 7 年 12 月 14 日（日） 14:00～18:00

場 所：関戸公民館 大会議室

参加者数：13 名

テ ー マ：自分たちで実行する取組を考えよう！

講 師：沼田 真也 氏

(東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授、多摩市みどり環境審議会会長)

(2) 会議のプログラム

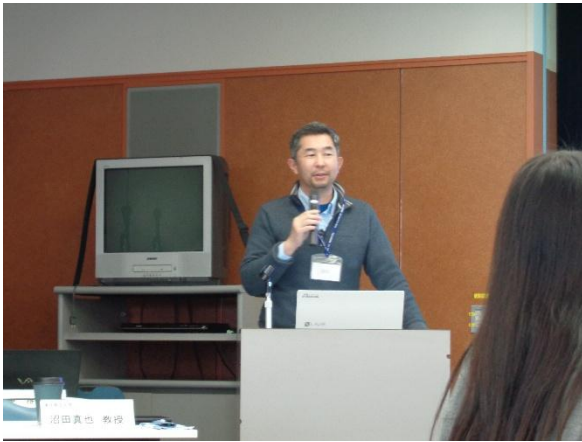
第 2 回会議のプログラムを以下に示します。

第 2 回会議のプログラム

時刻	時間	プログラム
14:00～	10 分	開会、オリエンテーション
14:10～	20 分	情報提供：第 1 回で選択した項目(着眼点 3)に関する情報提供
14:30～	30 分	グループワーク① ・ 各参加者がメニューに入れる取組みを 3 つ選ぶ
15:00～	10 分	休憩
15:10～	105 分	グループワーク② ・ 選んだ取組みについて、「役」に分かれて行動変容を起こす要素を検討する ・ 全員で行動変容を起こす要素をまとめる
16:55～	15 分	発表準備
17:10～	10 分	休憩
17:20～	20 分	グループ発表
17:40～	15 分	取組の実行方法の説明
17:55～ 18:00	5 分	閉会、事務連絡

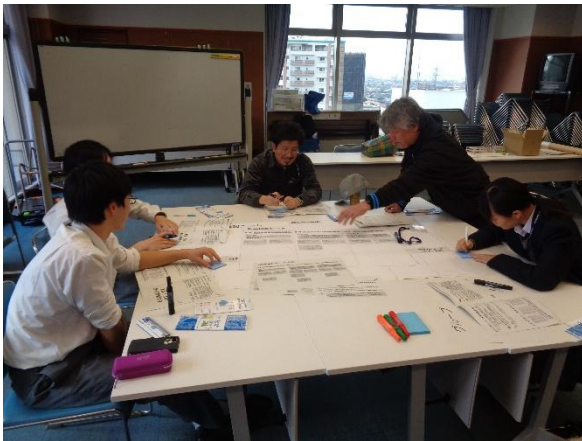
(3) 当日の様子

【講演の様子】



【講演】(沼田 真也 氏)

【グループワークの様子】



【発表の様子】



(4) グループワークの結果

第2回会議のグループワークの進め方と結果を以下に示します。

【グループワーク 進め方】

グループワーク

目的 皆さん自身で実行する「着眼点3」の取組みを考えよう！

💡 実行する取組みを考える上でのポイント

- ✓ 新しい習慣を身につける：日常生活での行動を改善するための習慣をつくる。
- ✓ 古い習慣を捨てる：望ましくない行動を減らす、やめる。
- ✓ 意識を変化する：自身の行動に対する理解や価値観を変えて周囲に影響を与える。

💡 狙い 私たちの生活をより良くするため、自分の意識・行動を変えることで、周りの人々にも良い影響を与える。
(自分の行った取組みが周りの人々にも広がる。⇨社会が良くなる)

14

グループワーク（全体の進め方）

30分

1 皆さんのアイデアで「着眼点3」の取組みを3つ選択

- ① グループの中で「着眼点3」の取組みのアイデアを出し合しましょう。
⇒1人につき、
「これまでにご自身が行ったことがない取組み」×1、
「これまでにご自身が行って長続きしている取組み」×1 を出してください。
- ② 出されたアイデアから3つ選択します。

105分

2 選択した取組みでポジティブな変化の実現を考える

- ① 選択した取組みを一つずつ、ワークシートに沿って話し合っていきます。
- ② 話し合った結果は、都度、発表用の「まとめシート」にまとめます。

各グループ
5分

3 発表

- ① 各グループからまとめシートの内容を発表します。
- ② 意識と行動を変化してライフスタイルを改善する取組みの一覧ができます。

15

グループワーク

1 皆さんのアイデアで「着眼点3」の取組みを3つ選択

① 皆さん一人2つアイデアを考えて付箋に書きます。

「これまでにご自身が行ったことがない取組み」×1
「これまでにご自身が行って長続きしている取組み」×1

※「行ったことはあっても長続きしなかった取組み」でも可です。誰もが行っている取組みは避けてください。

② 該当するカテゴリー（「3-1」「3-2」「3-3」）の場所に付箋を貼りながら、取組内容を発表します。

③ 全員が発表したら、付箋の内容を確認して、自分たちが実行する取組みの候補を3つ選びます。

※ ワークシートにすでに記載されている取組みを選んでいただいても結構です。

この内容に沿ってれば、計画に記載のない取組でもOKです。

取組提案

3-1 資源循環型の生活の普及

私たちは・・・

様々な機会でも4R+リニューアブルを推進します。

様々な機会でも4R+リニューアブルを推進します。

3-2 プラスチック対策の推進

私たちは・・・

痛ごみの約7割が川から流出している事実を市民と共有し、使い捨てプラスチックの削減と資源済みプラスチックのリサイクルを推進するなど、プラスチック対策に取り組めます。

マイバッグを持参して店舗の袋を減らしたり、回収ボックスに分別して回収したりして、プラスチックごみの削減、プラスチック対策に取り組めます。

3-3 食の地産地消の普及

私たちは・・・

多摩市の都市農業を応援して新鮮な地元農産物を産出「食の地産地消」を推進するとともに、農とのふれあい・体験の機会を拡大していきます。

新鮮な季節感や産地直送品を導入し、地元の産物を応援します。

新鮮な野菜や果物を活用して、食卓に地元産品の活用を促します。

終了時刻 15:00

グループワーク

2 選択した取組みでポジティブな変化の実現を考える

進め方

1. 以下のように司会、ポジティブ役、ネガティブ役に分かれます。

司会

取組みの提示者（取組ごとに交代）

ポジティブ役、ネガティブ役

司会以外の参加者(半数ずつ)

2. ポジティブな意見とネガティブな意見を考え、付箋に書き、貼りながら発表します。

検討シート

話し合う取組

ポジティブな意見

ポジティブな意見で、取組を実施する理由、取組みの効果、楽しさ、将来のイメージを書きます。

ネガティブな意見

ネガティブな意見で、取組を実施しない理由、取組を認知していない理由などを書きます。

意見を考えるときのヒント↓

対象者	効果	難易度 問題点	習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)

互いの意見を聞きながら、それぞれの役になりきって話し合ってください。
時間をかけて熟考する必要は無く、意見や答えが出なくなったところで次に進んでください。

グループワーク

2 選択した取組みでポジティブな変化の実現を考える

3. 挙げられた意見をもとに、ワークシートの下の部分に要素をまとめていきます。

対象者	効果	難易度 問題点	習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
その取組を実行するは だれか	取り組むこと で、どんな効 果があるか	難易度（高中低） 取り組む上でどん な問題があるか	取組を続けるた めにはどんな工 夫が必要か	取り組むこと の楽しさはな にか	選んだ要素から 想像される将来 のイメージ

20

グループワーク

2 選択した取組みでポジティブな変化の実現を考える

進め方

4. まとめシートに移しながら、まとめていく。

対象者	効果	難易度 問題点	習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)



まとめシート

グループ名

取組 1 ●●●●●●●●●●		
対象者	効果	難易度 問題点
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
取組 2		
対象者	効果	難易度 問題点

21

【グループワーク A グループ結果】

まとめシート		
		A グループ名
取組1 マイバックを持って買い物		
対象者	効果	難易度 問題点
誰でも	有料袋の削減	中
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
出かける時に見える場所に置いておく和良好的	お気に入りのバックを持って気分↑	皆がやることによって当たり前になる
取組2 (小さいころ)使っていたおもちゃや洋服を他の人に譲渡		
対象者	効果	難易度 問題点
誰でも	自分の不要品が他の人の欲求で価値がつく	中
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
お気に入りが見つけれられるからやめられない	買ってくれると嬉しい	廃盤化した商品に出会える
取組3 家庭からでる廃油を回収にだす		
対象者	効果	難易度 問題点
大人	下水問題が少なくなる、経費削減	低・中 (企業の強い協力が必要、回収場所が知られていない)
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
一回やってどのくらい楽か体験してもらい、置き場所	お金の節約	家庭で使える可能性が増える

まとめシート		
		A グループ名
取組1 マイバックを持って買物		
対象者	効果	難易度 問題点
誰でも	有料袋の削減	中
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
出かける時に見える場所に置いておく和良好的	お気に入りのバックを持って気分↑	皆がやることによって当たり前になる
取組2 (小さいころ)使っていたおもちゃや洋服を他の人に譲渡		
対象者	効果	難易度 問題点
誰でも	自分の不要品が他の人の欲求で価値がつく	中
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
お気に入りが見つけれられるからやめられない	買ってくれると嬉しい	廃盤化した商品に出会える
取組3 家庭からでる廃油を回収にだす		
対象者	効果	難易度 問題点
大人	下水問題が少なくなる、経費削減	中低 (協力が重要)
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
一回やってどのくらい楽か体験してもらい、置き場所	お金の節約	家庭で使える可能性が増える

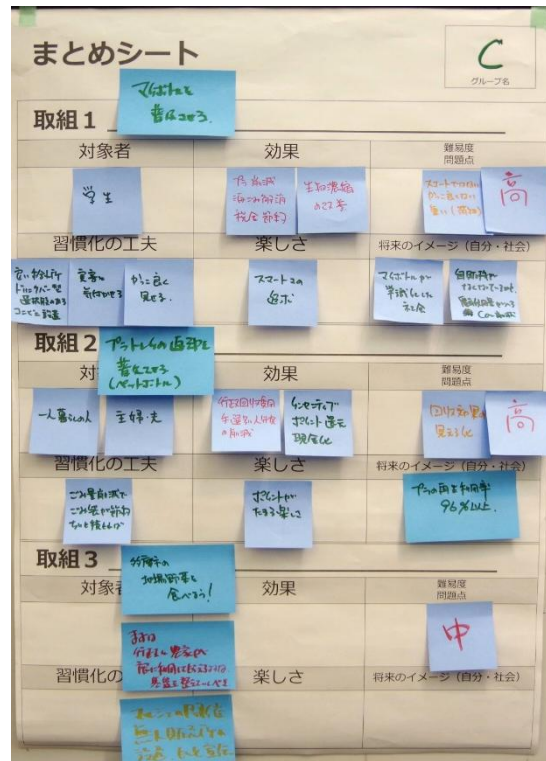
【グループワーク B グループ結果】

まとめシート		
		B グループ名
取組1 マイボトル・マイバックを活用		
対象者	効果	難易度 問題点
誰でもできる	プラスチックゴミが減る、節約につながる、くりかえし使える	低 (給水ポイントが必要、荷物が増える)
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
コンパクトにできるエコバックを選ぶ	マイバックをキーホルダーにする	
取組2 紙の分別を頑張る		
対象者	効果	難易度 問題点
誰でもできる	ゴミ全体の量が減る	高 (種類が多い、分別方法が異なる)
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
	分別をしなきゃいけない理由を知っておくとおもしろいかも…?	
取組3 長く使える物を選ぶ		
対象者	効果	難易度 問題点
誰でもできる	発展途上国に工場を置く場合が多いため、人件費が安い児童労働になることを避けられる	中 (初期費用が高い)
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
	愛着が出る	

まとめシート		
		B グループ名
取組1 マイボトル・マイバックを活用		
対象者	効果	難易度 問題点
誰でもできる	プラスチックゴミが減る、節約につながる、くりかえし使える	○給水ポイントが必要 ○荷物が増える ○難易度(低)
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
コンパクトにできるエコバックを選ぶ	マイバックをキーホルダーにする	
取組2 紙の分別を頑張る		
対象者	効果	難易度 問題点
誰でもできる	ゴミ全体の量が減る	○種類が多い ○分別方法が異なる ○難易度(高)
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
	分別をしなきゃいけない理由を知っておくとおもしろいかも…?	
取組3 長く使える物を選ぶ		
対象者	効果	難易度 問題点
誰でもできる	発展途上国に工場を置く場合が多いため、児童労働になることを避けられる	○初期費用が高い ○難易度(中)
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ (自分・社会)
	愛着が出る	

【グループワーク Cグループ結果】

まとめシート		
C グループ名		
取組1 マイボトルを普及させる		
対象者	効果	難易度 問題点
学生	プラ削減、海ごみ解消、税金節約、生物濃縮の改善	高 (スマートではない、かっこ良くない、重い(荷物))
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ(自分・社会)
選択肢のあるドリンクバー型の安い給水所のコンビニへの設置。実害に気付かせる、かっこ良く見せる	スマートさの追求	マイボトルが常識化した社会。自販機がなくなっているかも。電気使用量が減る。CO2削減。
取組2 プラトレイの返却を普及させる		
対象者	効果	難易度 問題点
一人暮らしの人、主婦(夫)	行政回収費用、手選別人件費の削減、インセンティブ・ポイント還元・現金化	高 (回収効果の見える化)
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ(自分・社会)
ごみ量削減によるごみ袋の節約	ポイントがたまる楽しさ	プラ再生利用率96%以上
取組3		
対象者	効果	難易度 問題点
習慣化の工夫	楽しさ	将来のイメージ(自分・社会)



4 取組の実行

(1) 取組の概要

参加者は、第2回気候市民会議で提案した以下の取組の中から各自1つ選び実行しました。実行後はワークシートに結果を記入して、多摩市に送付してもらいました。

- ・マイバッグを持って買物
- ・(小さいころ)使っていたおもちゃや洋服を他の人に譲渡
- ・家庭から出る廃油を回収にだす
- ・マイボトル・マイバッグを活用
- ・紙の分別を頑張る
- ・長く使える物を選ぶ
- ・マイボトルを普及させる
- ・プラトレイの返却を普及させる(ペットボトル)

(2) 取組の結果

取組の結果は以下の通りです。

取組の結果 (紹介)

マイバッグを持って買物 (目標：マイバックを持つ・外出時はマイバックを持参する)				
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・急な買い物をした時にレジ袋の購入をせずに済んだ ・有料袋の削減 			
難易度	<table border="1"> <tr> <td>低～中</td> <td>対象者</td> <td>だれでも(自分を含む)</td> </tr> </table>	低～中	対象者	だれでも(自分を含む)
低～中	対象者	だれでも(自分を含む)		
習慣化の工夫	メニューどおり実施した結果の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物以外でもマイバックを使うことがあったので便利であった。 ・外出時、常にマイバックを持参したので、急な買物でも有料袋を購入しませんでした。 		
	自分で工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・出かけるときは、なんでもよいから袋を持ってゆく習慣づけ。 ・財布とマイバックを一体と考え、カバンを替える時でも常に持参できるようにした。 		
楽しさ	メニューどおり実施した結果の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・袋を持って歩く便利さを感じた 		
	自分で見つけた楽しさ	<ul style="list-style-type: none"> ・袋の便利さに気づいたこと 		
将来のイメージ	自分	<ul style="list-style-type: none"> ・より携帯しやすいバッグの購入を検討中 		
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・バッグを持つことが当たり前の社会 ・誰もがマイバックを持参する社会 		
事業者に協力して欲しいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・何度も使えるマイバックがどの店でも買える。 ・マイバック製作者に：誰でも持参できるよう、種々の大きさ等、多品種の製作。特に若者が持てるマイバックを。 			
感想	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい気づきがあってよかった。 ・誰もが実行できる。 			

9

出典) 令和7年度多摩市気候市民会議(第3回)進行資料

取組の結果（紹介）

マイボトル・マイバックを活用（目標：学校でペットボトルを買わない）			
効果	マイボトル・マイバックを持つことが習慣化した。		
難易度	高	対象者	自分
習慣化の工夫	メニューどおり実施した結果の感想	持続できた	
	自分で工夫したこと	毎日朝マイボトルの用意。マイバックがリュックに入ってるか確認。ない場合は入れる。	
楽しさ	メニューどおり実施した結果の感想	特になし	
	自分で見つけた楽しさ	マイバックの種類を選ぶ	
将来のイメージ	自分	将来マイバック・マイボトル習慣化	
	社会	プラスチック袋の削減	
事業者に協力して欲しいこと	ない		
感想	自分のみでできることだったので持続できたかなと思う。		

10

取組の結果（紹介）

プラトレイの返却を普及させる（ペットボトル）			
効果	そもそも、何かもらえるからやるのではなく、基本を考え、自分の行動を自分自身が観察し、その選択がどちらなのかを考えると大切で、そのうえで都度環境に優しい行動の方を選択すれば良いのだと思う。その基本の考え方を提示しつづけることが大切なのではないでしょうか		
難易度	低	対象者	
習慣化の工夫	メニューどおり実施した結果の感想	自分を含め取り組んでいない人がいない	
	自分で工夫したこと	同上	
楽しさ	メニューどおり実施した結果の感想	普通の行動で何も思わない	
	自分で見つけた楽しさ	同上	
将来のイメージ	自分	ゴミの分別意識を高める	
	社会	モノを売る側・作る側の廃プラ削減に努める。そもそも論を言い続けカタチにしていくこと	
事業者に協力して欲しいこと	そもそも論を投げかけ続けて多くの人の意識に定着するようし、それが行動しやすい方へ選択できるようにすれば良いのではないかと		
感想	どの課題も自分を取り組んでいることを実感できました。周りの人も実行している人が多いことを認識できました。報告シートを添付すれば良いのに、ここに入力することが手間でした		

11

出典）令和7年度多摩市気候市民会議（第3回）進行資料

5 第3回会議

(1) 会議の概要

日 時：令和8年2月21日（土） 14:00～18:00

場 所：多摩市役所

参加者数：11名

テ ー マ：実行した取組を話し合おう！

講 師：沼田 真也 氏

（東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授、多摩市みどりと環境審議会会長）

(2) 会議のプログラム

第3回会議のプログラムを以下に示します。

第3回会議のプログラム

時刻	時間	プログラム
14:00～	5分	開会、オリエンテーション
14:05～	15分	情報提供：取組の集計結果の共有
14:20～	70分	グループワーク ・ 自分たちで実際に行った取組について、取組結果を話し合う ・ 他の人に推奨できる取組かまとめる
15:30～	10分	休憩
15:40～	70分	個人ワーク ・ 参加者が自分の「市民として環境のために続けたいこと（行動宣言）」を考える ・ 自分の行動宣言と近い人同士で内容を共有する ・ 行動宣言の発表する
16:50～	15分	今後の案内
17:05～	10分	休憩
17:15～	15分	全体の講評
17:30～	20分	クロージング（参加した感想共有）
17:50～ 18:00	10分	閉会、事務連絡、写真撮影

(3) 当日の様子

【講評の様子】



【講評】(沼田 真也 氏)

【グループワークの様子】



【発表の様子】



(4) グループワークの結果

第3回会議のグループワークと個人ワークの進め方と結果を以下に示します。

【グループワーク 進め方】

グループワーク

目的

取組の結果を話し合っ
て、他の人に
おすすめできる取組か考えよう

14

グループワーク（全体の進め方）

60分 1 取組結果について意見交換をしてみよう

取組内容を共有しながら、より取組を拡大するために必要なことを考えます。

基本的には、第2回のグループで取組内容の話しを進めてもらいます。

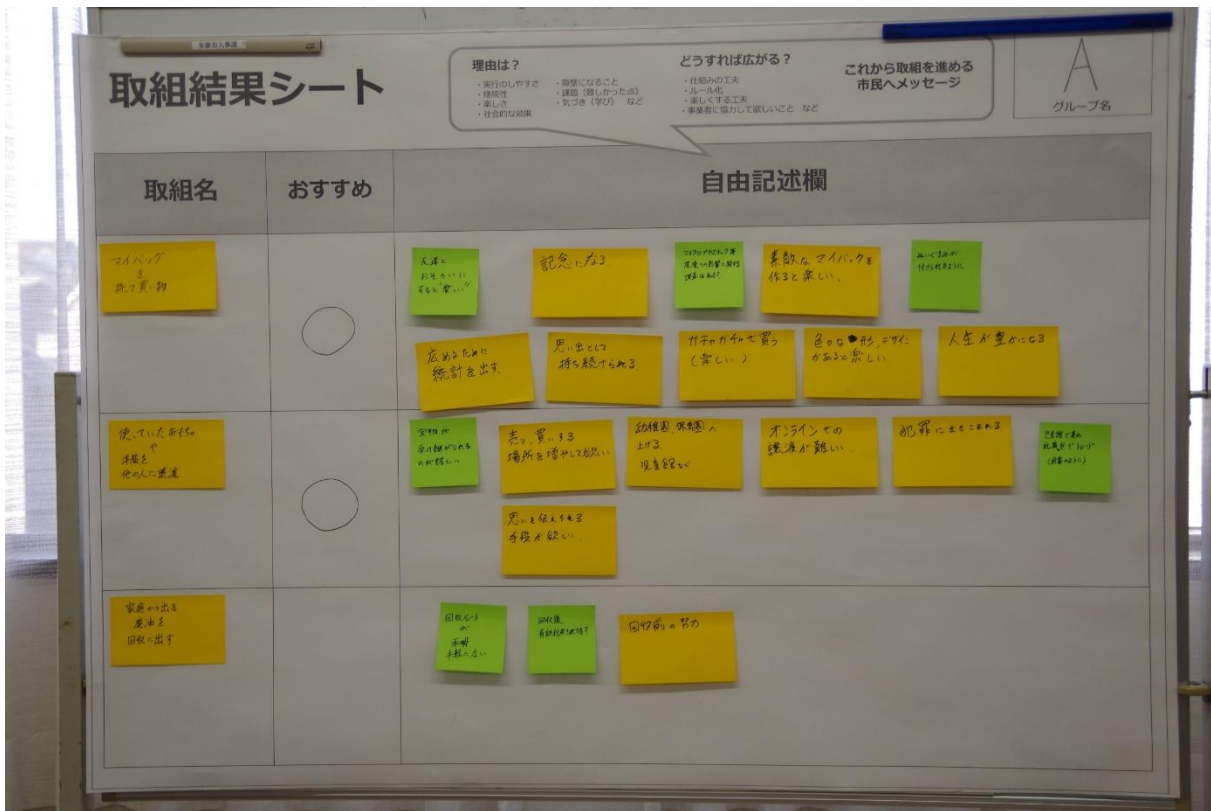
各グループ 3分 2 発表

各グループからグループワークの内容を発表します。

15

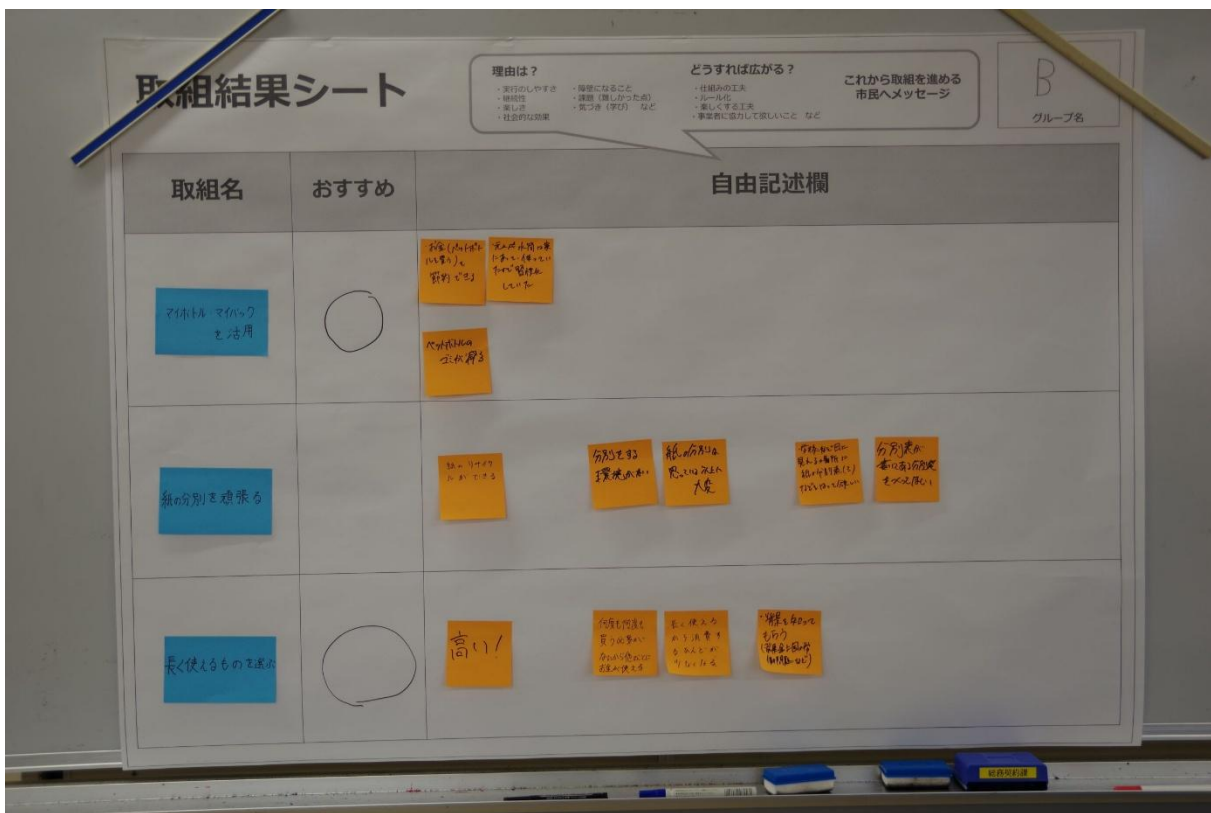
【グループワーク Aグループ結果】

取組結果シート		理由は？ ・実行のしやすさ ・継続性 ・楽しさ ・社会的な効果 など	おすすめしない理由は？ ・障害になること ・事業者に協力して欲しいことなど	どうすれば広がる？ ・仕組みの工夫 ・ルール化 ・楽しくする工夫 ・事業者に協力して欲しいことなど	取組を進める市民へ メッセージ
マイバッグを持って買い物	○	自由記述欄 ・友達とおそろいにするのが“楽しい” ・広めるために統計を出す ・記念になる ・思い出として持ち続けられる ・マイクロプラスチック等 環境への影響に関する調査はある？ ・ガチャガチャで買う（楽しい） ・素敵なマイバッグを作ると楽しい ・色々な形、デザインがあると楽しい ・ぬいぐるみが付けられるように ・人生が豊かになる			
使っていたおもちゃや洋服を他の人に譲渡	○	自由記述欄 ・宝物が受け継がれるのが嬉しい ・売り買いする場所を増やして欲しい ・思いを伝えられる手段が欲しい ・幼稚園、保育園へあげる（児童館など） ・オンラインでの譲渡が難しい ・犯罪にまきこまれる ・児童館で集め、近隣の市でトレード（図書のように）			
家庭から出る廃油を回収に出す		自由記述欄 ・回収ルートが手軽にない ・回収後、有効利用されてる？ ・回収前の努力			



【グループワーク B グループ結果】

取組結果シート		おすすめの理由は？ ・実行のしやすさ ・継続性 ・楽しさ ・社会的な効果 など	おすすめしない理由は？ ・障害になること ・事業者に協力して欲しいことなど	どうすれば広がる？ ・仕組みの工夫 ・ルール化 ・楽しくする工夫 ・事業者に協力して欲しいことなど	取組を進める市民へ メッセージ
		B グループ名			
取組名	おすすめ	自由記述欄			
マイボトル・マイバッグを活用	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金（ペットボトルを買う）を節約できる ・ 元々、水筒は家にあつて使っていたので習慣化していた ・ ペットボトルのゴミが減る 			
紙の分別を頑張る		<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙のリサイクルができる ・ 分別をする環境がない ・ 紙の分別は思っている以上に大変 ・ 学校など目に見える場所に紙の分別表(?)などをはって欲しい ・ 分別表が書いてある分別袋をつくってほしい 			
長く使えるものを選ぶ	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高い！ ・ 何度も何度も買う必要がないから他のことにお金が使え ・ 長く使えるから消費する頻度が少なくなる ・ 背景を知ってもらう（発展途上国の労働問題など） 			



【グループワーク Cグループ結果】

取組結果シート		おすすめの理由は？ <small>・実行のしやすさ ・継続性 ・楽しさ ・社会的な効果 など</small>	おすすめしない理由は？ <small>・障害になること ・事業者に協力して欲しいことなど</small>	どうすれば広がる？ <small>・仕組みの工夫 ・ルール化 ・楽しくする工夫 ・事業者に協力して欲しいことなど</small>	取組を進める市民へ メッセージ	C グループ名
取組名	おすすめ	自由記述欄				
プラトレイの返却を普及させる		<ul style="list-style-type: none"> ・ ボンタポイントがもらえるならやる ・ 人の報酬系を刺激する ・ プラトレイの返却はすでにしている人が多い ・ 回収できる場所を増やす ・ 場所の宣伝 				
マイボトルを普及させる	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持っていきただけでいいので楽（実行のしやすさ） ・ カバンから出すのを忘れる ・ マイボトルを持っていくとカバンが結露で濡れない ・ 給水器を増やす ・ 洗いやすくする ・ マイボトルは便利 ・ マイボトルを持った方が良いメッセージ ・ 環境にやさしい人はカッコいいと暗示して自己肯定感を上げよう 				



個人ワーク

目的

今回の会議を踏まえて、今後皆さんが
環境のためにできることを考えよう

21

個人ワーク（全体の進め方）

- 5分 **1** 自分の「行動宣言」カードの作成
今回の経験を踏まえて、
自分が「市民として環境のために続けたいこと（行動宣言）」を記入します。
- 5分 **2** グループ分け
自分の行動宣言に一番近いと思うテーブルに移動します。
- 40分 **3** 仲間同士の共有・共同アクション案の検討
同じテーブルに集まった仲間たちと意見交換をしてみましょう。
- 1人
1分 **4** 行動宣言・共同アクション案の発表
話し合ったことを1人ずつ発表します。

22

個人の行動宣言は以下の通りです。

【資源関連】

- ・(小さいころ)使っていたおもちゃや洋服を他の人に譲渡し、幸せを受け継ぎます。
- ・資源の再利用を意識する
- ・リサイクルを意識します

【プラスチック関連】

- ・マイバッグを持ち歩く
- ・マイバッグを必ず持ち歩き長く使えるものを選んで買います！
- ・マイバッグを持ち歩きます。

【食関連】

- ・多摩市の食べ物を選ぶ
- ・地域の食材を買います
- ・ごはんを食べて、食品ロスを減らします。
- ・食品ロスを減らします。

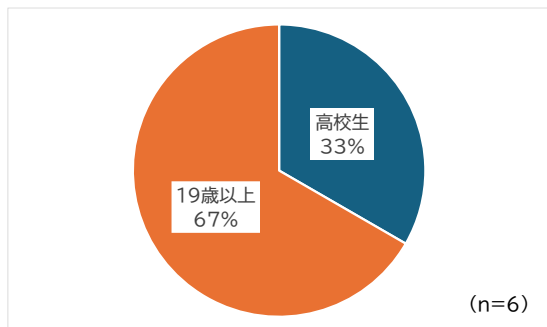
【その他】

- ・街をきれいに。ポイ捨てのゴミを集めます。

6 終了後アンケート

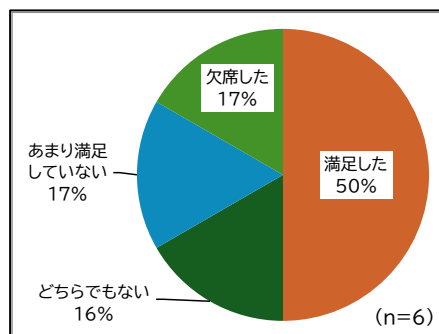
第3回会議の終了後に、参加者に対してアンケートを実施しました。結果を以下に示します。

Q1 あなたの年代をお聞かせください。



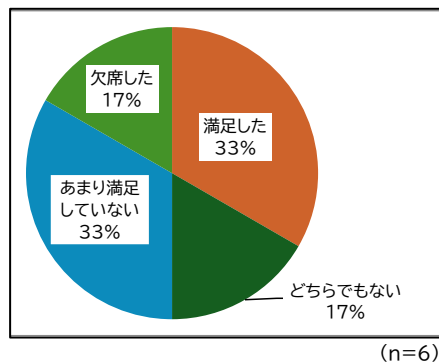
Q2 多摩市気候市民会議の満足度をお聞かせください。

【第1回多摩市気候市民会議】



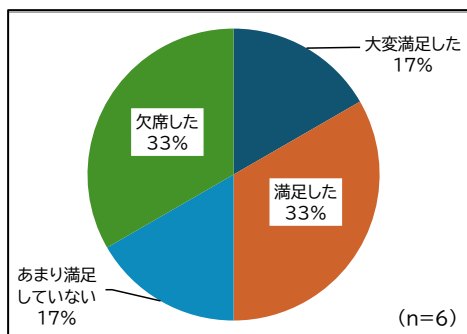
No.	回答	理由
1	どちらでもない	高校生と一緒にいるということを知らないで参加してしまった。大人の比率が少なすぎて満足はできなかった。
2	あまり満足していない	休憩時間がほとんどなかったから。
3	欠席した	皆さんが前向きで楽しそうであった為。

【第2回多摩市気候市民会議】



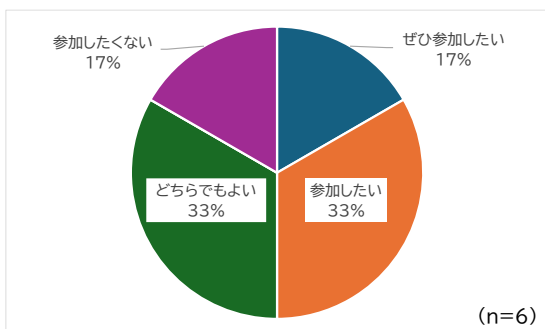
No.	回答	理由
1	あまり満足していない	グループワークの際に役員の人から紙に書くのは女性の方がいいですよ。次は代わりに書いてくれる？と強制的に書かされることになって不快だった。グループワークなので誰が書いても良いと思う。発言に気をつけてほしい。
2	あまり満足していない	同上。(高校生と一緒にいるということを知らないで参加してしまった。大人の比率が少なすぎて満足はできなかった。)

【第3回多摩市気候市民会議】



No.	回答	理由
1	大変満足した	皆さんが前向きで楽しそうであった為。
2	あまり満足していない	グループワークなどがほぼ毎回同じ人で、司会進行も自分達で進めるのではなく流されてしまった感じがしたから。

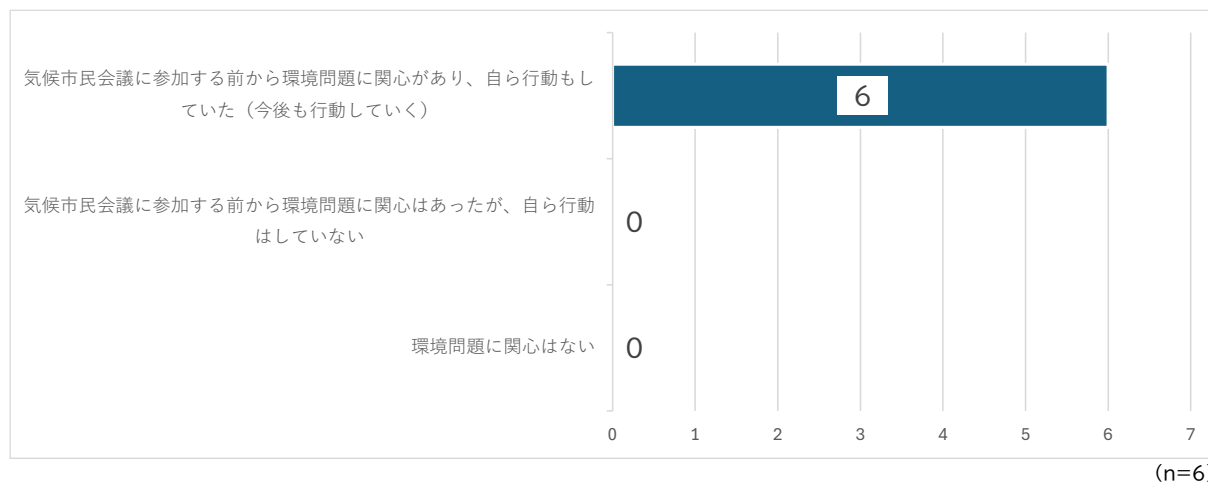
Q3 多摩市気候市民会議にまた参加したいと思いますか。



【参加についての条件など、ご意見等】

No.	理由
1	大人の参加は不可欠と思うのでそこがクリアできるならぜひ。
2	自分のためになるので参加したいが、出来るだけ多くの人に参加してもらう方が良いと思う。幅広い年代に参加してもらうべきでは。
3	グループワークの前に自己紹介をするのはいいが、その時間がほぼなくグループワークに進むのでみんな空気を読みながら進めていた感じがしたのでやりにくかった。また、先述した女性だから書くなどの雰囲気はなくしてほしい。他にもグループワークで全く発言しない人や、学校ごとでまとまりすぎているなどが見受けられた。 上記のような問題点が解決すれば参加したいと思う。自分達で解決策を考え実行しフィードバックするということとても良い流れで考えることができたのでためになったと思う。
4	できるだけ多くの方に参加していただくことが大事だと思う為

Q4 気候市民会議に参加する前後での環境問題への関心度の変化について、お聞かせください。(参加前)



【行動している内容】

No.	理由
1	サステイナブルファッションについて発信する団体での sns メンバーとしての活動、学校外での環境問題に関する課外活動への参加、探究活動
2	ゴミの出し方など気にするようになった。
3	ゴミ拾い。節水、節電

Q5 Q4 で2又は3を選んだ場合は、参加後の環境問題への関心度の変化についてお聞かせください。

※該当者なし

Q6 そのほか、全体を通して意見等ありましたら記載をお願いいたします。

No.	意見
1	環境に関係する団体が市内で数多く活動しているので、気候市民会議から各団体に参加してもらう道を作っては。

令和7年度多摩市気候市民会議
実施結果の報告書

令和8年3月発行

発行 多摩市
〒206-8666
東京都多摩市関戸 6-12-1
TEL 042-375-8111 (代表)

編集 環境部環境政策課
編集協力 アオイ環境株式会社